



外径約675m、幅約30m、高さ約12m（外側約20m）の大屋根リングを北東上空から望む。
照明ガイドラインによって上空への光漏れや光害を抑えるように設計されている

撮影：楠瀬友将

日本万博史上最多の参加国を誇る いのち輝く未来社会の実験場

大阪ベイエリアの人工島・^{ゆめしま}夢洲で、2025年日本国際博覧会（略称：大阪・関西万博）が開幕した。期間は2025年4月13日から10月13日までの184日間。「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、日本政府の招請に対して世界各地から160を超える国・地域および国際機関が参加。1970年

の大阪万博の倍を超える国々が参加する。会場は四方を海に囲まれたロケーションを活かし、世界とつながる「海」と「空」が印象的に感じられるようにデザインされており、約155ha（東京ドーム約33個分）の敷地には、国内の27館に加え、40を超える独自館を含む海外パビリオンが建設されている。会場のシンボルは世界最大の木造建築物「大屋根リング」。会場デザインプロデュ

サーの建築家・藤本壮介氏によって構想された全周約2kmの建築物は、コロナ禍や紛争で分断が進む時代に、世界を一つにつなぎ合わせる「多様でありながら、ひとつ」という理念が込められている。リングの中に世界各国のパビリオンが全て配置されており、植栽が施されたリング上からは、会場全体や瀬戸内海、大阪のまち並みを一望することができる。

大阪・関西万博会場



大阪・関西万博

所在地／大阪市此花区夢洲
開催・運営／公益社団法人2025年日本国際博覧会協会
会場デザインプロデューサー／藤本壮介
ランドスケープデザインディレクター／忽那裕樹
照明デザインディレクター／東海林弘靖
会期／2025年4月13日～10月13日
規模／約155ha